

厚生労働省より、放課後等デイサービスの支援の質の向上を図るため、「放課後等デイサービスガイドライン」が定められています。

今回そのガイドラインに基づく評価を実施し、「放課後等デイサービス自己評価結果」（保護者向け・事業者向け）がまとまりましたので、ここに公表します。

アンケートにご協力いただきました保護者の皆様の貴重なご意見やご要望をたくさんいただきありがとうございました。

これらを参考とし、今後の支援に活かしていきたいと考えています。

いそしまカーム 放課後等デイサービス

放課後等デイサービス自己評価表（社会福祉法人 高潤会 いそしまカーム）

対象者：令和元年度 利用者 13名 回収者 12名

保護者等向け

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見（ご意見を踏まえた対応）
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	3	1	（児童指導員2名常勤配置していますが更に1名保育士の採用を進めています）
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10	2		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11		1	（曜日毎のプログラム設定を行い、更に、発達段階に応じたメニューの再編を進めます）
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	7	4	（10月に障がい部門全体のお祭りを企画しています。その際なぎさ高校の生徒との交流を進めていきます。）
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1	1	（個別支援計画の際の懇談以外にも高等部3年生については進路懇談の実施。個別ケースについては必要に応じて電話等で情報共有等行っています。更に深く進めていきます）
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	3	1	（個別支援計画の際の懇談以外にも高等部3年生については進路懇談の実施。個別ケースについては必要に応じて電話等で情報共有・支援を実施しています。更に進めていきます）
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	6	5	（10月に開催するお祭りはご家族も参加頂ける中身となっております。今後も休日を利用した家族参加型イベントなどの企画を検討していきます。）
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	5		今までそういったことがないため不明。 電話以外の対応を考えてほしい。 （電話以外の対応については検討をしています）
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	2		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11		1	（ブログでの情報発信・9月より月次予定表の配布を開始しました。）
	14 個人情報に十分注意しているか	12			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	4	1	（マニュアルの整備はしております。申し出がありましたら閲覧も可能です。）
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	5	1	（消防計画に則り、総合訓練・部分訓練を定期的に実施しています。必要であれば月次予定表に記載します）
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9	3		まだ慣れていない。
	18 事業所の支援に満足しているか	11	1		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			確保されています。間仕切りや公共施設の活用など活動によって工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童指導員常勤2名配置。さらに保育士1名の採用を進めています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティングと月1回の職員会議にて行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		今回が初めての実施のため、今後活かしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公表します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年間の研修計画に基づき実施しています。他事業所の見学などにも取り組んでいます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメント表に基づき子供達の課題分析を行い、ご家族のご意見も聴取・担当者会議を開催し計画作成を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			作業評価やアセスメント表を活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々のミーティングと月1回の職員会議にて行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日毎のプログラム設定を行い、更に、発達段階に応じたメニューの再編を進めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			工夫し実施しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			中学・高校生を中心として事業所であるため、集団活動をメインとし、集団活動の中で出てくる課題について個別に対応しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			日々のミーティングを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日々のミーティングを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌・個人記録を日々記入。記録に関するマニュアルも作成しています。日々の記録は支援計画に反映しています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に担当者会議を開催しモニタリングを行い。必要に応じて計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインを活用し実施しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			必要に応じて連携しています。個別ケース対応等で担任の先生と情報共有・意見交換等もしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在受け入れしていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		中学・高校生を中心として事業所であるため、実施していません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			積極的に情報提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要に応じて今後実施していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	10月に障がい部門全体のお祭りを企画しています。その際なぎさ高校の生徒との交流を進めていきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	事業所連絡会などの参加を心がけている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートの活用・電話連絡・ブログにて日々の状況や課題について伝えています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後必要であれば検討してきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、丁寧に説明させて頂いています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談があった場合は面談を実施しています。また、事業所側から必要と判断した場合にも面談を実施しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	10月に開催するお祭りはご家族も参加頂ける中身となっております。今後も休日を利用した家族参加型イベントなどの企画を検討していきます。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速対応を心がけています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ログでの情報発信・9月より月次予定表の配布を開始しました。	
	35	個人情報に十分注意しているか	○			同意書を交わすなど十分に注意を払っています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		連絡ノート・電話等にて意思疎通を図れるように心掛けています。その他のツールについては今後検討していきます。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年間6回フリマを開催。カフェ運営や野菜販売などで地域住民との交流を行っています。また、10月に障がい部門全体のお祭りを企画しています。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルの整備はしております。申し出がありましたら閲覧も可能です。
		39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防計画に則り、総合訓練・部分訓練を定期的実施しています。
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人全体の取り組みとして研修を実施しています。また、虐待防止マニュアルも整備しています。	
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在身体拘束その他行動を制限する行為を行う状況ではありません。	
42		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		個別対応していきます。	
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリ・ハット事例を記録・閲覧し、事故防止に努めています。	